

各位

会社名 株式会社 神明ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 藤尾 益雄
 問合せ先 株式会社神明 事業創造室長 橋本 賢
 (電話 03-3666-3504)

株式会社成田市場青果の株式取得に関するお知らせ

当社は、株式会社成田市場青果（以下、「成田市場青果」といいます。）の発行済株式70%の取得に関し、成田市場青果の株主と株式譲渡契約書を締結しましたのでお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社グループは、基幹事業である米穀事業の拡充を図ることに加えて、人口の減少や少子高齢化、食生活の多様化などの環境変化に対応するため、無菌包装米飯・炊飯米等の加工食品、外食事業の展開など、国内外での事業領域を伸長させております。近時では青果物や水産品を含めた「川上から川下までの食のバリューチェーン」構築に向け積極的に展開しております。

一方、成田市場青果は、成田エリアにおける青果物流通の拠点として効率的な流通、安定した取引を推進し、生産者と消費者の利益を守り、川上から川下までの幅広い取引関係や情報収集力、千葉の生産者を中心とする地場産地との強固な信頼関係、仲卸業者を通じた販売網並びに販売力を構築しております。さらに2020年には成田国際空港隣接地に市場を移転する為、輸出入の拠点となることも期待されています。

当社と成田市場青果は、農産物の食品流通の要として、将来にわたり果たしていく役割、克服すべき課題を共有できるパートナーとなり得、両社が協力して「産地との強固な連携による集荷力強化」、「マーケットインの発想による販売力強化」という共通課題に取り組むことで、双方の企業価値の向上と生産者、消費者の利益に繋げていくことができると考え、今回の株式取得について合意に至ったものであります。

日本の農業の課題である産地の担い手不足等が取り上げられる中、おいしい農産物を安定的に供給すること、農業・産地を活性化すること、環境変化に応じた消費者ニーズに的確に対応していくことが日本の食の礎であり、両社が精通した事業分野を融合させることで、集荷力、販売力、商品提案力において屈指の農産品流通企業グループへと成長して参る所存です。

2. 株式を取得する会社の概要

(1) 名称	株式会社成田市場青果
(2) 本社所在地	千葉県成田市飯仲4 2 番地 2
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小泉 嘉美
(4) 事業内容	青果物の仕入販売並びに委託販売及びその付帯する一切の業務
(5) 資本金の額	8, 0 0 0 千円
(6) 設立年月日	2 0 1 7 年 8 月
(7) 売上高	8 9 0, 0 0 0 千円 (2018年9月期見込)

3. 株式取得の内容

1) 当社は成田市場青果の株式を以下のとおり取得する予定です。

- ① 取得株式数：1 1 2 株（発行済株式数に対する割合 70%）
- ② 払込金額：先方との合意により非公表とさせていただきます。
- ③ 払込金額の総額：先方との合意により非公表とさせていただきます。

2) 株式取得の目的

①農産物流通でのシェア拡大：

現在上尾市場に入場し、荷受業者として活躍している埼玉中央青果株式会社に加え、成田市場青果が当社グループに参画することで、関東圏の青果流通市場におけるシェア拡大が期待できる。

②神明グループとのシナジー：

地場産の集荷を得意とする埼玉県中央青果、成田市場青果それぞれの産地及び顧客を結び付け、3温度帯での配送を構築する事で、神明グループの商品も含めて、お客様に新鮮で、美味しい商品を供給していく。

③海外でのシェア拡大：

2020年開場予定の新成田市場*のワンストップ輸出拠点、高機能物流拠点を活用することによる輸出の拡大を見込む。特に神明グループの現地法人があるシンガポール、香港といったところで販売できるように連携していく。

※新成田市場の基本理念と戦略について

(基本理念)

市民に対し安定的に生鮮食料品等を供給すると共に、世界に日本の農水産物等の美味しさと食文化を提供し、輸出拡大を通じて日本の農水産業発展に貢献する。

(基本戦略)

成田空港を活用した日本産農水産物等の「輸出ビジネス集積拠点（モノ・商売・技術のハブ）」を形成すると共に、インバウンド需要を取り込み、市場全体を活性化する。

4. 株式取得の日程

株式取得日：平成30年12月（予定）

以上